

第 5 回 印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会会議録

期 日 平成 2 9 年 3 月 1 3 日 (月)

場 所 印西地区消防組合消防本部セミナー室

○会議次第

1. 開 会 (午後 2 時)
2. 議 事
 - (1) 報告事項について
 - (2) 印西地区消防組合及び栄町消防広域化の検討結果について
 - (3) その他
3. その他
4. 閉 会 (午後 2 時 2 7 分)

【出席委員】 1 2 名

会 長	伊 澤	史 夫 (白井市長)
副会長	板 倉	正 直 (印西市長)
副会長	岡 田	正 市 (栄 町 長)
委 員	小 川	義 人 (印西市議会議長)
委 員	秋 本	享 志 (白井市議会議長)
委 員	大 野	博 (栄町議会議長)
委 員	川 上	賢 二 (印西市消防団長)
委 員	川 上	正 紀 (白井市消防団長)
委 員	大 野	徹 夫 (栄町消防団長)
委 員	須 藤	達 也 (印西地区消防組合消防本部消防長)
委 員	杉 田	昭 一 (栄町消防本部消防長)
委 員	生 稻	芳 博 (千葉県防災危機管理部消防課長)

【欠席委員】 なし

【説明員】

印西地区消防組合消防本部次長 浅 野 富 夫

印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会事務局

事務局長	樋 関	健 一
主 査	伊 藤	正 和
主 査 補	徳 島	宏 樹

◎開 会

○事務局長（樋関健一） 本日は、大変お忙しいなかお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

只今から、第5回印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会を開会いたします。

本日進行を務めさせていただきます、広域化協議会事務局の樋関でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは開催に先立ちまして、伊澤会長よりご挨拶をお願いいたします。

○会長（伊澤史夫） 皆さんこんにちは。

本日は、皆様お忙しいなか、第5回印西地区消防組合及び栄町消防広域化協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、前回の2月3日の第4回協議会の中で、消防広域化について事務局より資料が提出されまして、各委員は持ち帰り検討され、今日は、いよいよその方針を決定するという会議でございます。

この後、協議事項等がございますが、スムーズな会議ができますようよろしくお願いいたします。

○事務局長（樋関健一） ありがとうございます。

それでは、協議会規約第9条第2項の規定により会議の進行につきましては、伊澤会長をお願いいたします。

伊澤会長、議長席へお願いします。

○会長（伊澤史夫） 只今から本日の会議を開きます。

まず、会議録署名人の指名を行います。会議録署名人は千葉県防災危機管理部消防課長生稲委員、印西市議会議長小川委員を指名いたします。

○委員（生稲芳博）○委員（小川義人） はい。

○議長（伊澤史夫） よろしくをお願いいたします。

それでは、議題に入る前に板倉市長さんより発言をお願いします。

板倉委員。

○副会長（板倉正直） 発言をさせていただきます。

印西市としては、印西地区消防組合及び栄町消防の広域化の意志はありません。併せて協議継続の必要がないことから、当協議会の委員の職を辞させていただきます。

私からの発言は以上です。

○議長（伊澤史夫） 今の発言の内容は、印西市としては消防の広域化の意志がないということ、そして、この場をもって委員を辞職するという2点でございますか。

板倉委員。

○副会長（板倉正直） そうです。

○議長（伊澤史夫） 小川委員。

○委員（小川義人） 私も印西市議会を代表して、この会議に参加させていただいておりますけれども、印西市議会としましても今、板倉印西市長からご発言がありましたとおり、同じ歩調をとっていきたいと考えています。

○議長（伊澤史夫） 皆さんの意見を聞く前に、ここまで会議を進めてきた訳ですから、今の発言に至った経緯或いは理由を申し述べていただきたいと思いますと思いますが、印西市長さんお願いできますか。

板倉委員。

○副会長（板倉正直） 私、先程広域化の意志はないと発言させていただきました。

こうやって皆さん方と協議を進めてまいりましたが、実際のところ議会の同意が全く不可能であると。

皆さんの色々な話のなかで、この広域化によって何らメリットなども無いし、印西市にしてみれば、そういった意志はないという強い議会のお考え諸々の話のなかで、この広域化、私も皆様方に大変ご迷惑をお掛けしたなと思っておりますけれども、ここで決めても最終的に議会の議決が必要でございますし、その辺を考えますとまた混乱してしまうということを十分に考えた末に、こういうふうな結論に至った次第でございます。

○議長（伊澤史夫） 分かりました。

そうしましたら、印西市議会代表の小川委員からも意見をお伺いしたいのですが。

小川委員。

○委員（小川義人） 殆ど今、板倉印西市長がおっしゃったとおりですが、印西市と印西市議会としては一致した形で、同じ歩調を進めていくということになりました。

○議長（伊澤史夫） 分かりました。

他の委員の皆さん。今、印西市から市長でもあり委員でもある、また議会議長でもあり委員でもあるお二方から発言がありました。

この発言に対して、いかがでしょうか。

○議長（伊澤史夫） 生稲委員。

○委員（生稲芳博） 今、市長さんからメリットが無いというお話があったかと思いますが、前回の協議会の後、資料を持ち帰り、内容について質問があればということで幾つかの質問があり、そのなかにメリットについての話もあったと聞いております。

それについては、メリットが無い訳ではなくて、例えば現場到着時間が早くなる。初期消火体制が充実出来る。また、色々な設備を整えていく上で財政負担の話。それは印西市さんのみならず、白井市さんや組合さんにとってもメリットがあるというようなお答えがあったかと思います。

今のお話ですと、メリットが無いという判断をされたようですけれども、その辺はどういうお考えなのかなということと、質問のなかには、協議を急ぐ必要があるのかとい

うものもあったかと思えます。

これは今日分かった話であるのですが、今この協議会は、広域化の現在の期限である平成30年4月1日に向かって間に合わせようと急いできた訳ですけれども、国はまだ広域化を進めたいということで学識経験者を集めて国レベルで審議会を開いております。審議会の議論のなかでは、広域化を進めていく必要があるということで、平成30年4月1日以降についても広域化の取り組みを緩めないという審議会の答申が、今週中にでも表に出てくると聞いております。

メリットや中身について、1ヶ月という時間はあったのですが、そのなかで消化できない部分があるならば、平成30年4月を平成30年6月でも7月でも1ヶ月、2ヶ月の間で更に中身を深められて、ここにいらっしゃる方々の考え方が一致するような可能性があるならば、今しばらく協議してもいいのかなと思えます。少なくとも時間が無いと言われている方については、もう少し丁寧に、せっかく集まって協議している訳ですから、やっていただきたいなと思えます。

○議長（伊澤史夫） 岡田委員。

○副会長（岡田正市） 今、印西市長と印西市議会議長からご発言がありましたけれども、私も普段の付き合いのなかで、一緒にやろうよという話のなかから印西地区の広域化ということが、これはまとまるなという判断で、印西市また印西地区消防組合にお願いをした訳でございまして、その判断が私は凄く間違っていたのかなと、こういった経緯になりますと4回5回という会議を重ねて、職員の皆様方にも大変お骨折りをいただいて、これは本当に私共のお願いが、皆様方には大変ご迷惑を掛けたということで。

これは一番大きい印西市がそういう話でしたら、私共はお願いする立場ですので、これはもう無かったということではない。私共が一生懸命頑張っても、大市印西市が駄目だという話になれば、もうこれは終わるしかないのかなと。

そしてですね、最初に言っていただければ5回も会議を重ねる必要がなくて、人件費或いは経費も当然節約できた。

私共も、もう出来ると思って人員を配置し予算を掛けてまいりましたけれども、そういった部分においては印西市で最初に断るという話のなかで、そういった経費の部分は、印西市で持つ気があるのか無いのか、非常に聞いていただきたいなと思えます。

○議長（伊澤史夫） 今の生稲委員の発言のなかで、先程印西市長さんからメリットが無いから、印西市としては広域化に反対だという話がありましたが、生稲委員からは県として色々情報を得たなかで、広域化の期限も延伸されるという方向である。更にメリットが出るのではないかという話がありましたが。

メリットが出ても、やはり印西市としては協議会については、反対だという考えに変わりはないのでしょうか。

○委員（生稲芳博） 糸魚川の大火災やアスクルの倉庫火災を見ても、初期消火が非常に大事で、印西市さんにおかれてもこれから暫くの間は人口が増える、そして、また企業を誘致して市自体をもっと立派な市に、そして、安心安全を備えていこうというなかでは、やはり消防力の体制を強化して臨んでいくというのが、私は市民ではありませんが、印西市さんとしては非常にお金で換算できないようなメリットというのもあるかと思しますので、メリットが無いというのは非常に残念に思います。

○議長（伊澤史夫） 財政的な面と消防体制の強化で、県としてもメリットがあると見ている。更に県としても広域化を進めている立場でもございますので、それらにおいてもやはり印西市としては、広域化には賛同できないという再度の確認になりますが、失礼ですがそういうことでございましょうか。

板倉委員。

○副会長（板倉正直） 要は議員の理解が得られない。

議員の皆さん方の理解が得られないということは、このまま進めても結局議会の議決これが必要な訳で、空気見て殆どの人達が反対だと。そういった空気なんですよ。

私は、広域という気持ちを持ちながら進めて今日まで来ましたが、やはり議会の空気、皆さんの考え、そういうのを調整してみると殆ど賛成が得られない。それでこういった結論に至った状況です。今後これを再度進めて行くにおいては、やはり議会は無視できませんので、議員との接触をしていただいて、状況をよく説明しながら理解していただく。これを時間を掛けてやる以外には、私は方法がないと思います。

私がこれで強力に進めて行ったところで、決着は見えてしまっています。だからそういったことで、広域化の結論に達しました。

私の苦しい立場もご理解していただいて、その辺ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（伊澤史夫） 大野委員。

○委員（大野徹夫） 印西市長さん。

栄町長も願ひますということで、5回もやってきました。

確かに今、説明を受けて議会の賛成が得られない。

私も他のことで、印西市長さんと一緒にやっている仕事もありますので、言いたくはありませんが、何とかしようという考えは無いのですか。

○議長（伊澤史夫） 板倉委員。

○副会長（板倉正直） ここで、委員同士でやっても仕方ないと思います。

○議長（伊澤史夫） 今、整理します。

今日5回目まできて委員の皆さんも、どうして印西市が反対なのか未だ理解できていないと思います。

今、印西市長さんのお話ですと、議会の理解が得られないということでしたが、そうしたら、小川議長さんお話し出来る範囲でよろしいので、どうして印西市議会が賛成出来ないのか、そして今後こういうところが払拭されれば、もう一度広域化の話に戻れるのか。話が出来る範囲で結構ですから、お聞かせ出来ますでしょうか。

小川委員。

○委員（小川義人） 今、板倉市長から市議会のお話をされましたけれども、今回の市長の発言というのは反対とかではなくて、いわゆる広域化の意志はないということで、それが全てだと思っております。それは印西市も印西市議会としても一致した答えでありまして、それは今まで資料をいただきまして、その質問であったりお答えであったり、そういうことを考慮した上で、意志は無いということの一言であります。

○議長（伊澤史夫） 暫時休憩いたします。

休憩 午後 2 時 1 5 分

再開 午後 2 時 2 5 分

○議長（伊澤史夫） 再開いたします。

発言を求める方。

川上委員。

○委員（川上賢二） 印西市長、印西市議会議長が委員を辞職すると意見が出ましたが、私も印西市長から任命を受けている立場上、意見は一緒に統一しますので、私も辞任させていただくということをここで表明いたします。

○議長（伊澤史夫） 分かりました。

休憩前と休憩後、印西市から選出されました板倉委員、小川委員、川上委員、3名の辞職の発言。そして、印西市にとっては、広域化の意志は無いという2つの発言がございました。

この発言については、内容的にも協議会に諮って決するというような内容ではございませんので、この発言を重く受けまして協議会は今回で終了したいと思います。

ご異議ございませんか。

<「異議なし」という声多数>

○議長（伊澤史夫） それでは、本日只今をもちまして、協議会が審議未了ということで終結いたします。お疲れ様でした。

上記会議録を証するためここに署名する。

議 長 伊 澤 史 夫

署名委員 生 稲 芳 博

署名委員 小 川 義 人